

「愛媛CATV」編

松山は「ユビキタス仕事場」

CATV局が産業振興の領域まで ウイングを広げたのは全国初



大胆な松山市の5Gbps「BB MATSUYAMA(仮称)」を具体的にどのように活用したらいいのか、関係者10名による大座談会を行った。松山市側から産業と教育の責任者にご出席願った。地元からITビジネスのリーダーである大野氏、愛媛CATVのプロジェクト担当者、また、「業界」からは、ノーテルネットワークス、日商エレクトロニクス、ITXイー・グローバルレッジの幹部が議論に加わった。(構成+司会：大野昭/写真撮影：藤澤喜久雄)

キラコンテンツは「安全」

—— ノーテルネットワークスの平松さんは、このところ、三重県を始め、多くのCATV局をまわられています。今度の松山市の5Gbpsネットを平松さんなら何にかかわれますか。

平松 なんとといってもセキュリティでしょうね。まちと暮らしを安全にすることでしょうね。どの地域でも、セキュリティのための提案を求められています。

亀田 世の中、物騒になってきています。具体的には、IPマルチキャスト方式による監視システムなどが急速に普及しています。

平松 私どもでは、三重県の教育委員会さまにシステムをお納めしていますが、一つのネットワークで教育利用と同時にセキ

ュリティ面でも利用できます。

及川 5Gbpsあればいろいろなことが可能ですね。市長もおっしゃってられますが、雇用という点でも、セキュリティ・サービスは、Tぽても有望です。

野尻 私どもはネットワークのセキュリティシステムをお勧めしているわけですが、いまのCATV網などはセキュリティ面では弱体です。

「走る、営業公務員」

—— 観光都市・松山ということでも、安全なまちづくりは欠かせません。まず、「外来部隊」がセキュリティということで口火を切っていただいたわけですが、竹村さんは、産業振興ということで、今度のプロジェクトの実質的な仕掛け人です。なんで

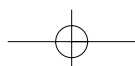
すか、名刺に「走る、営業公務員」とあるのは！

竹村 大切な税金を投入して作ったネットですからね、1社でも多くユーザーを獲得しないと、市長に叱られます。なにしろ、市長は商社マンでしたからね。営業ノルマがきつくて(笑)。これは冗談です。

白石 市役所の雰囲気は変わりましたね。やる気満々です。今回のプロジェクトは官民一体で進めていますので、竹村さんのような「営業公務員」の存在は大きいですね。

竹村 市議会のみならず、これからの公は情報公開をどんどん進めなければなりません。産業面でも、特に観光産業振興ということでは、情報発信力を強化します。

神山 我々は「まちは24時間制作スタジオ」「市民のための記者クラブ」を標榜し



**竹村 奉文**

松山市産業経済部地域経済課主幹

**沖廣 善久**松山市教育委員会事務局
生涯学習政策課情報推進担当**大野 栄一**

株大栄電機工業 代表取締役社長

**神山 充雅**株愛媛シーエーティヴィ
代表取締役専務**白石 成人**株愛媛シーエーティヴィ
営業課長兼開発室室長代行**柴田 祐輔**株愛媛シーエーティヴィ
技術部チーフ**平松 敏之**ノーテルネットワークス株
常務取締役**亀田 正博**ノーテルネットワークス株
ソリューション営業 部長**野尻 泰弘**ITXイーグローパレッジ株
ブロードバンドネットワーク 部長

ています。我々のCATV網を「生活道路」とすると、BB MATSUYAMAは「高速道路」です。産業振興ということにCATVが関係するという新しい経験です。じつにやりがいのある仕事だと思いますね。

柴田 愛媛CATVとは別個のBBネットができたことは、一段と高い通信技術が求められますので、大いに勉強になりますね。

泓田 我々も今回のネット構築をお手伝いさせていただいて感じたことは、ベンチャービジネスなんかも起こしやすくなる、ということです。

竹村 ユビキタスということでは、「どこでも仕事ができる」ということで、松山市内は「ユビキタス仕事場」になるわけです。

野尻 松山には、優れたコンテンツがあります。観光、エンターテインメントなど面でいろいろな雇用が生まれるでしょうね。きっといい循環が起こるでしょうね。大いに期待しています。

沖廣 教育での利用が一番、活発化するんじゃないかと思います。すでにケーブルインターネットが学校にいきわたっています。それが、さらに高速になるわけです。

から、想像できなかった利用方法が「発見」されるかもしれません。

CATV局も人材育成に直接関与

平松 その時、やはり人材育成ということが大きな課題になりますね。

神山 そうなんです。愛媛CATVでは、すでに教職員を対象にした、教材づくりや、メディアリテラシーの教育を、普通ならNHKがやるようなことを、我々がすでに、大々的にやっています。

亀田 教育面だけではなくて、福祉・医療などの人材育成にも役立ちますね。

及川 その点、三重県での我々の納入事例などは参考になりそうですね。

沖廣 BBで先生と生徒、学校と地域の関係が密接になりますが、その時、一番問題になるのは、どれだけいい先生がいるかということなんです。

野尻 商店街の活性化やセキュリティ教育など、BBならではの可能性がありますね。

亀田 高度なことをやろうと思えば、やはりマルチキャストのような技術導入が必要

になります。

泓田 それに、我々の扱っているセキュリティシステムも必要になります(笑)。

—— これは、市長に伺うべきだったのですが、どうして、今の時期でなければならなかったのですか。

竹村 いい質問です(笑)。考えてみて下さい。これまでは、まず東名阪からやって、地方都市はずっとその後です。その時には、もうマーケットはありません。松山市は独自財源を積み立てていたので、絶好のチャンスだととらえたわけです。

平松 なにしる、ドッグイヤーですから、3、4年遅れたら取り返しがつきません。先手必勝というわけです。

神山 市はお金は出すけど、口は出さない。通信事業は専門の民間に任せるというやりかたですね。

大野 全国的にみても初めてのケースでしょうね。

竹村 できあがったネットには、我々は特別の規制はかけません。

及川 太っ腹ですね(笑)。

—— 全国的にみても、挑戦的なプロジェクトです。ぜひ成功させてください。